

令和2年10月16日

日本風力エネルギー（株）様

いなば西郷むらづくり協議会
会長 前田 伸一

西郷地区を対象とする風車建設に関する質問書

いなば西郷むらづくり協議会は、自然環境、景観を生かした地域の魅力を住民が共有し、住み続けたい魅力ある郷を目指した取り組みを進めており、西郷地区全住民を会員とした住民組織で、地域の活性化に資する様々な事業を行っています。このことから当会は、風車建設の過程においては地権者集落に限る事無く、西郷地区全体を地元と認識して頂きたいと考えております。

自然エネルギーの活用は必要な取り組みであると認識していますが、この事業はあまりにも住民の生活空間に近いところで計画されており、当会が進めている工芸の郷づくり、移住定住事業にも重大な影響が出ています。

地元住民（組織）として本事業を理解するためには、本会への事業説明をお願いするとともに、様々な懸念事項が払拭される必要があります。については、下記の内容についてご回答頂きますようお願いします。

記

1. 騒音及び健康被害等に関すること

ア 国内に前例のない計画規模の施設における健康被害要因（騒音、低周波、超低周波、谷の共鳴、振動等）は、どの程度予測・検証されているのか資料を提示していただきたい。

イ 他の比較的小規模な風力発電施設でも騒音苦情が出ていることも実際に示されているが、本件において健康被害の訴えや苦情が出た場合、どのような手順で対応されるのか具体的に示していただきたい。

ウ 長さ 60m、幅 4m と説明のあった羽根の県・市道の搬入経路及び工事車両の通行量等の想定を示していただきたい。

2. 自然破壊・土砂災害に関すること

ア 風車の設置場所は、例年土砂崩れが発生する不安定な地質で岩坪断層もかかる集落の裏山にあたり、大規模な切土や盛土は崩壊の危険が伴うが、その安全性を示す根拠ある説明を求める。道路及び風車の設置場所の計画図（平面、標準横断図）及び工事方法並びに風車の標準的な基礎構造図を提示していただきたい。

イ 未公開ながら、絶滅危惧種であるイヌワシの生息区域でもある為、バードストライクへの対応を示されたい。大量の風車を建設する事の影響はどう予測されるか。農作物の害獣被害の増加も懸念されるところ、対応策を示していただきたい。

ウ 開発に伴う濁水の処理計画、土砂流入に伴う河川の水質汚染対策、流域における保水力の低下に伴う洪水予測と対応策を数値で示していただきたい。

エ 風車の安全性は既存の JIS 規格等で担保されているとのことだが、当計画における巨大な施設規模に置き直して適切なものと言えるのか具体的な資料をもって示していただきたい。

オ 風車への落雷、飛水、反射光、シャドーフリッカー等の影や乱気流についての影響は検討されているか。その対策を示していただきたい。

3. 景観に関すること

ア 西郷小学校校門、天神原橋、湯谷荘駐車場から見た想定景観のフォトモンタージュを示していただきたい。

イ 三滝渓や高山は西郷地区の自然資産だが、その周辺に風車が立ち並ぶ事は景観破壊をもたらすと思われるが、貴社の認識を示していただきたい。

4. 事業計画・進め方に関するこ

ア 事業を進めるにあたって地元住民に対する説明、事業への同意などが必要とされているが、どの範囲を地元と考えるのか、さらに風車の設置場所が地区境界(西郷地区と神戸地区)にある場合「地元住民」とはどこまでの範囲とし、何をもって「同意」とするのか、貴社の認識を示していただきたい。

イ 国に申請済みの FIT 適用のための地元同意期限が令和 3 年 3 月に迫っていると聞いているが、期限に間に合わなかった場合どうされるのか、貴社の認識を示していただきたい。

ウ 施設廃止・撤去等における事業者責任を明確にする為にも、地権者と締結する契約書の書面を提供していただきたい。

エ 事業を行うために必要となる風車の最小基數を示していただきたい。

オ 当初から現在に至る計画地の変更理由を示していただきたい。

5. その他

ア 西郷地区で進めている移住促進の取り組みや工芸の郷構想に重大な影響が出ているが(現在、移住を予定していた 3 家族が風車計画を知り断念又は保留となっている)、このようなことについてどのように考えるのか。貴社の認識を示していただきたい。

イ 海外に 200 基程度設置されている、同規模の風車で集落(民家)との離隔状況(最も近くに設営されている風車と地形)を示していただきたい。